名取市図書館友の会





第7号 2020.12.25

022-382-5437



令和2年度名取市協働提案入門コース採択事業

村岡恵理さん講演会~村岡花子と『赤毛のアン』~



11月7日(土)に増田公民館ホールで、「村岡花子と『赤毛のアン』」と題して、村岡恵理さんの講演会を 行いました。この講演会は、令和2年度名取市協働提案入門コース事業に採択され、市から助成を頂いて います。講師の村岡恵理さんは、『赤毛のアン』の翻訳者村岡花子さんのお孫さんにあたります。ここで村 岡花子さんの生涯について簡単にご紹介しましょう。

1983年(明治26年)甲府生まれ。父逸平は、茶商でクリスチャン。10才の時、東洋英和女学院に給費生(奨学 生)として入学。学院時代は、友人の柳原燁子(白蓮)の影響を受け、和歌や日本の古典を学ぶ。1919年、26才で 村岡儆三と結婚。1923年、関東大震災で夫の印刷会社が倒産、全てを失う。1926年、最愛の一人息子を6才で、疫 痢で亡くす。1939年、帰国する宣教師から『赤毛のアン』の原書をもらい、戦争中に翻訳。友人知人に、平塚らいて う、与謝野晶子、片山廣子、広岡浅子、市川房江など。1968年、75才で亡くなる。

今回の講演では、村岡花子さんの、生身の人間としての心温まるエピソードをたくさん紹介してもらい、 村岡花子さんの生きた素晴らしい世界を知ることができました。

コロナ禍で、本当に開催できるかハラハラしましたが、柴崎館長をはじめ、多くの 関係者の努力と英断により、無事開催することが出来ました。本当に感謝いたします。 今回の講演会は大変人気があって、予約はすぐに埋まり、当日も何とか参加できない かと会場に来られた人がいたほどでした。

講演会の最後に、なととから村岡恵理さんに花束と記念品を贈りました。また参加 された方には、なととのメンバー手作りのストラップと「復興ありがとうホストタウ ン推進室」で作ったトートバッグをお土産としてプレゼントしました。終わってみて、

改めて講演会を開催した充実感を実感しています。皆様、本当にありがとうございました。

村岡恵理さん講演会アンケート「講演会へのご意見・ご感想」からん

参加者は、113人。お陰様で70%強に良かったとの評価をいただきました。

・コロナ禍の中、久しぶりに温まる講演会に参加することができ、感動した。明けない夜は無い、曲がり角の先には幸せが待っている ・激動の時代にあって、ご長男を亡くしてなお、文学を子ども達に伝えることを使命感を との言葉を信じ、日々を送っていきたい。 作家や作品を紹介して欲しかった。 持って成し遂げた花子さんの人生に共感した。 いつかカナダに行きたい。 に先生とお姉様の公演に参加したことをきっかけに7年前から仙台で輪読会「赤毛のアン読書クラブ」を開催。コロナの中でも赤毛 のアンシリーズを声に出して読むことで、参加者の皆さんと共に元気をいただいている。

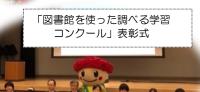
その他に「赤毛のアン」の愛読者、ファンで、訳者の村岡花子さんのお話を聞けてとてもよかったとの感想が、沢山寄せられまし た。ご協力ありがとうございました。





図書館まつり開催

12月5日(土)、コロナ禍最中の状況を踏まえ規模を縮小 して開催されました。それでもいろんな場で笑顔が見ら れ、不安な日々が続く中、和らいだ1日になりました。 ご協力頂いた皆さんありがとうございました。





みんなのアイドル カーナくんもやってきました



チャンプは、斉藤楓華さん





2020.11.8図書館来館者

50万人達成

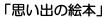


50万人目は、閖上の 渡邊さん親子でした。



♪わたしからあなたへ♪

本のバトン (10.2)







私が、この本に出会ったのは小学生の頃です。おおきなおいもで作った恐竜。その赤紫 の色が絶妙で、これぞ"さつまいも"っという印象的な表紙です。今でも、スーパーで、 さつまいもを見ると、この本を思い出すほどです。

ある幼稚園の「いもほりえんそく」が、雨で延期になり、がっかりした子供達が、空想 の「おおきなおおきなおいも」で"いもざうるす"を作ったり、"おいもパーティー"を したり、楽しい 1 日を過ごします。

私の大のいも好きも、子供達が作った、てんぷら・やきいも・大学いもの美味しそうな 絵から影響を受けているのかなあと思ったり。子供の頃に行った「いもほり」の楽しかっ った気持ちも思い出させてくれる、思い出の絵本です。



「鶴巻幼稚園・市村久子の 教育実践による おおきなおおきなおいも」

赤羽末吉:さく・え 福音館書店:出版

☆ 9 月・10 月・11 月・12 月のナイトライブラリー☆☆

☆9/25 CD コンサート「映画音楽で世界一周」

柴崎館長の穏やかな心地良いナレーションで始まりました。映画音楽による世界一周です。 スタートは、アメリカ。イギリス、フランス、オーストリア、中央アジアと続き、最後は、 東京柴又の「寅さん」で締めくくられました。映画は観ていなくてもあのサウンドで、当時 のあの世界、あの場面にジャンプします。60分で世界一周。約11km/秒の超高速の旅でし た。

☆10/30 「二つの名取を知っていますか?」

「二つの名取を結ぶ会」代表の大橋信彦氏をお迎えして、もう一つの

名取(愛媛県佐田岬半島にある「伊予の名取」)についてお話していただきました。

1615年に伊達政宗公の長男秀宗が宇和島藩主として入国する際に、軍馬の育成や海上警 護を担うため同行した名取郡の軍夫が、「名取」という集落を作りました。現在は、90戸 200 人の住民が柑橘栽培を中心に自然豊かな山肌に暮らしています。

震災時には全戸あげて2度に亘り義援金を名取市にお寄せ頂いたそうです。 400 年という 長い年月を経ても「伊予の名取」の皆さんは、私達の「陸奥の名取」を忘れず大切にされて いたのです。

同会では、5年前から交流を始め、「伊予の名取」に松がなくなったことを知ると閖上の 松の子孫を植樹したり、尚絅大生や先生と共に訪問したりと交流を深めています。これから も「二つの名取」の「縁」を大切にしていきたいですね。

☆11/27「和菓子作りに魅せられて」

中澤清彦氏は、和菓子「清昇堂」(市内飯野坂)の店主です。 今回は、柴崎館長からのインタビュー形式で始まりました。

子どもの頃から工場に行くのが好きで、毎日、和菓子作りを見ていたそうです。

和菓子は、日本の気候風土に合い、庶民の生活文化に合せ、その地域ならではの和菓子が あるそうです。

和菓子作りの実演では、専門の鋏で、菊の花びらを1枚ずつ作るところを見せて頂きまし た。食べるには、もったいないような芸術作品でした。

これからも、今までどおり、安全安心なおいしい、きれいな和菓子を作り続けていくとい うことでした。

☆12/18 レコードコンサート「ベートーヴェン生誕 250 年」

3月に予定していましたが、コロナの影響でできず、今回実現できた企画です。 生涯学習 課の菊地栄一さんのナビゲーターで、交響曲4曲とピアノソナタ3曲を鑑賞しました。12 月はベートーヴェンの誕生日でもあり、年末に響く第9も聴けて、タイムリーに楽しめま した。どっぷりとベートーヴェンの世界に浸ることができました。

☆☆これからの ナイトライブラリー🙀

☆1/29「酒造りにかける ―閖上で造るということー」 ゲストスピカー 佐々木 洋氏 (佐々木酒造店 蔵元専務)

対象 20歳以上

*試飲もありますので、試飲される方 は、お車でのご来館はご遠慮下さい。

☆2/26「みちのくの」 昔話と伝説

―東北の言葉で聴く語りの世界―」 語り手 海沼 寿子さん 千葉 ケイさん

(みちのく公園ふるさと村の

民話の会)

☆3/26 (調整中)

時間 19:30~20:30 会場 カフェコーナー 定員 40 名 参加費 無料 申込み 図書館へ

えでんごんばん

♪コロナ禍の中で、「村岡恵理さん の講演会」と「図書館まつり」の大 きなイベントが、無事終了しまし た。感染対策を意識しながら皆さ んと協力し終えられたことは、大 きな収穫になりました。来年は、 「図書館まつり」のメインイベン ト「ブックリサイクル」の実現や 講演会に沢山の参加者を募れる事 を祈っております。

♪2021 年は、コロナが収束し世 界が平穏となり、皆様にとって良 き年となりますように。